

登録コード	TSJ98500	開講年度	2026				
授業科目	モデル駆動ソフトウェア開発特論					担当教員	小形 真平
英文授業名	Model-Driven Software Development					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限		対象学生
講義室	EW1-115教室			授業形態	講義	備考	情報数理・融合システム分野1・2年生
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	ソフトウェア分析・設計に用いるモデリングの方法を学び、自らまたは他者からのソフトウェア要求に対して、それらを適切に適用できるようになる。
(2)授業の概要	ソフトウェア分析・設計において重要な次の内容を実践を通して身につける。 1) ソフトウェア分析・設計のためのモデリング技法の基礎 2) モデルに基づく分析・設計レビュー・検証技法の基礎 3) ソフトウェア分析・設計モデリングの展開と応用例の最新知識 要求分析から設計までのモデリング方法について、古典的だがまとまりのあるICONIXを基礎として例題を設けて実践的に学ぶ。 また、様々なモデリング技法の最新知識を得るための文献の調査・発表を行う。						
(3)授業計画	授業計画 第1回 ガイダンス 第2回 ゴールモデル 第3回 ゴールモデルのレビュー・検証 第4回 ユースケースモデル（ユースケース図・ユースケース記述） 第5回 ユースケースモデル（ユースケース図・ユースケース記述）のレビュー・検証 第6回 アクティビティ図 第7回 アクティビティ図のレビュー・検証 第8回 クラス図（概念モデル）・オブジェクト図 第9回 クラス図（概念モデル）・オブジェクト図のレビュー・検証 第10回 ロバストネス図 第11回 ロバストネス図のレビュー・検証 第12回 シーケンス図 第13回 シーケンス図のレビュー・検証 第14回 文献調査 第15回 文献調査結果の発表						
(4)成績評価の方法	提出課題ならびに授業態度（レビュー・検証・発表）の評価により成績を評価する。 すべての課題を提出することが単位修得の必要条件である。						
(5)成績評価の基準	全体成績は、モデルの知識と応用力を問う提出課題70%と授業態度30%とする。 各種モデル図を記述する際にどの図要素をどのように使用することがふさわしいかが判別できているかを中心に評価する。						
(6)事前事後学習の内容	授業時に提供する教材を用いて予習と復習を実施することとする。						
(7)履修上の注意	オブジェクト指向プログラミングの考え方を理解していることが望ましい。 モデリング実践のために受講生自ら開発してみたい小規模ソフトウェアとその要求を整理してることが望ましい。						
(8)質問,相談への対応	授業時や授業外の来室での対応を基本とする。 また、例外的に電子メール(ogata@cs.shinshu-u.ac.jp)でも対応する。 来室時には事前にアポイントメントをとっておくこと。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	講義中に指示						